

# 豊橋市自然史博物館に寄贈されたツシマテンについて

安井謙介\*・武田芳男\*\*

A note on *Martes melampus tsuensis* (Thomas, 1897) (Carnivora: Mustelidae)  
donated to Toyohashi Museum of Natural History

Kensuke Yasui\* and Yoshio Takeda\*\*

## はじめに

長崎県対馬にのみ生息するツシマテン *Martes melampus tsuensis* (Thomas, 1897) は、本州、四国、九州、朝鮮半島に分布するテン *M. melampus* の 1 亜種である (阿部ほか, 1994; 佐々木, 1997; 石井, 2002)。対馬全域に広く分布し、現在、個体群は安定していると考えられているが、交通事故死個体の増加や主な生息地である広葉樹林の伐採による生息環境の悪化が進行しており、1971 年に国の天然記念物に、また環境省により「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されている (佐々木, 1997; 石井, 2002)。

今回、筆者の一人である武田により長崎県対馬市峰町にて交通事故死したツシマテンが採集され、豊橋市自然史博物館にて登録・保管されることとなったので、ここに報告する。

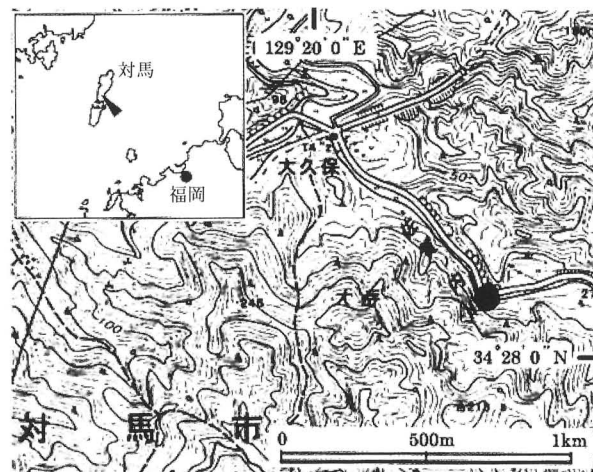
ツシマテン死亡個体の引き取りに際して便宜を図っていただいた対馬市教育委員会厳原事務所生涯学習班の尾上博一氏並びに豊橋市美術博物館の贅元洋氏、テンの繁殖に関する貴重なご意見を頂いた井の頭自然文化園の小林和夫氏に厚くお礼申し上げます。

## 採集地点と経緯

2006 年 2 月 23 日、長崎県対馬市峰町大久保の県道 48 号線路上にて交通事故死したツシマテンを武田が

発見・採集した (第 1 図)。右側頭部に事故時に受けたと考えられる外傷が認められたが、これ以外に目立った損傷は認められず、また腹部の膨張が見られなかったことから、発見時は死後あまり時間を経っていないと思われる。翌 24 日、武田は対馬市教育委員会厳原事務所を通して文化庁に文化財保護法第 33 条による滅失届を申請し、豊橋市自然史博物館へ寄贈した。

なお、本個体は非交連骨格標本及び毛皮標本 (TMNH-MA-224) として豊橋市自然史博物館に登録・保管されている。



第 1 図. 採集地位置図。

国土地理院発行 2.5 万分の 1 地形図「三根」使用。

\* 豊橋市自然史博物館. Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan.

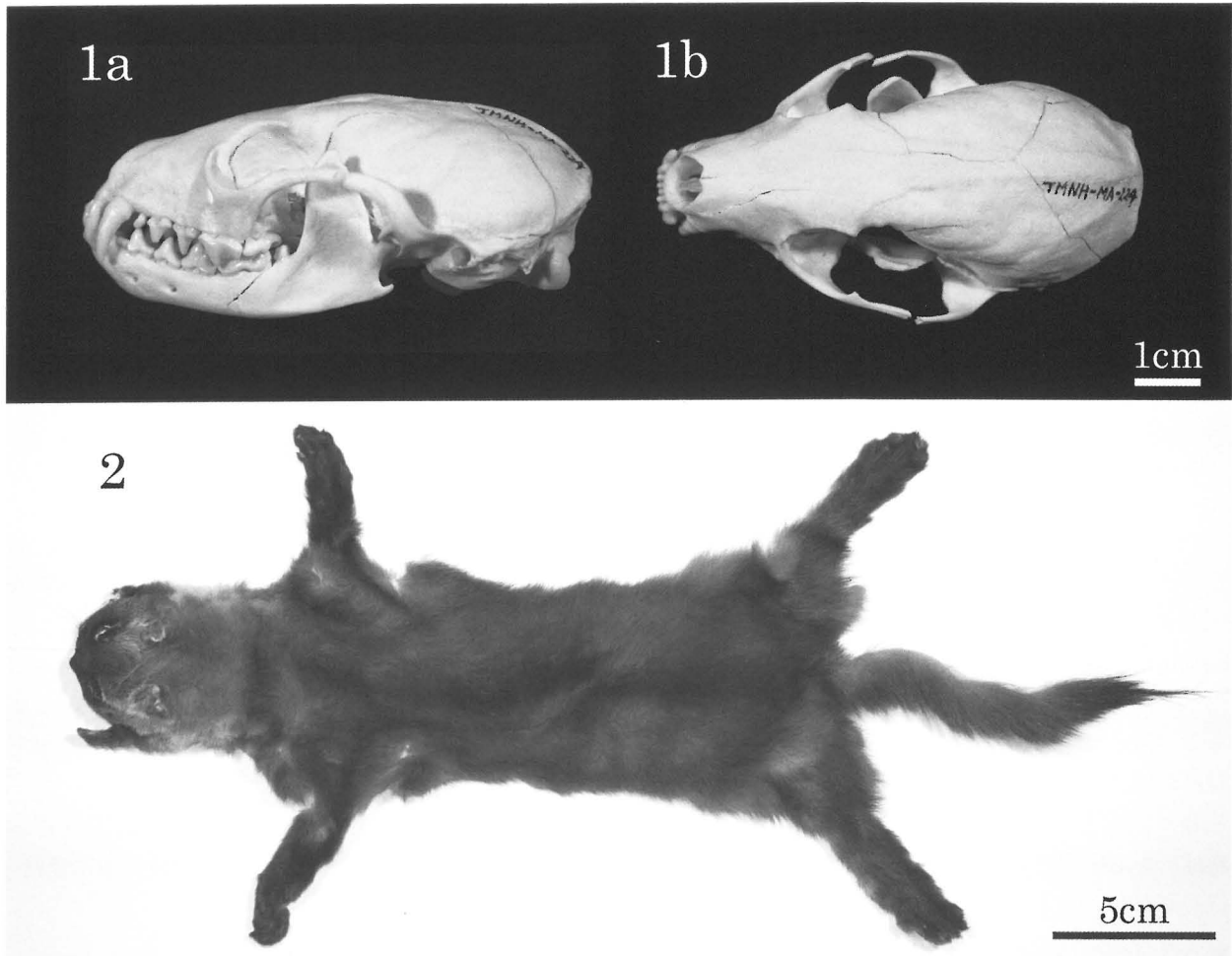
\*\* 豊橋市大岩町黒下 39-1. 39-1 Kuroshita, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan.

原稿受付 2006 年 12 月 20 日. Manuscript received Dec. 20, 2006.

原稿受理 2006 年 12 月 27 日. Manuscript accepted Dec. 27, 2006.

キーワード: ツシマテン, 対馬, 長崎県.

Key words: *Martes melampus tsuensis*, Tsushima, Nagasaki Prefecture.



第2図. ツシマテン *Martes melampus tsuensis*, TMNH-MA-224.  
 1: 頭骨標本 (a: 左側面観, b: 背側面観), 2: 毛皮標本.

標本の記載と所見

TMNH-MA-224 (第2図) の外部計測値及び頭骨計測値は第1表のとおりである. なお, 外部計測法は阿部ほか (1994) に, 頭骨計測法は阿部 (2000) に従った.

TMNH-MA-224 は外部生殖器の形状からみてメスである. 生殖巣及び生殖道が未発達で, 乳頭の突出が確認されなかったことから未経産個体である. 頭蓋骨及び四肢骨の長骨骨端部は完全に癒合している. 歯列は永久歯列で, 咬耗の進展はほとんど見られない.

ツシマテンは4~5月に出生し, 4か月後の8~9月には成獣と同じ体サイズになるとされている (細田・鑑, 1996). テン属 (*Martes*) では約12~39か月齢で雌雄ともに性成熟に達することが報告されており (Mead, 1994), また, ツシマテンと繁殖生理が本質的に変わらないとされるニホンテン *M. melampus melampus* (Wagner, 1841) では12か月齢以降の繁殖

第1表. TMNH-MA-224 の外部計測値および頭骨計測値.

外部計測値		頭骨計測値	
体重	1145 g	頭骨最大長	78.6 mm*
全長	557 mm	基底全長	75.4 mm*
尾長	175 mm	基底長	68.4 mm*
耳長	38 mm	口蓋長	35.4 mm*
後足長		上顎歯列長	31.2 mm
(爪を含む)	90 mm	切歯孔長	3.25 mm
(爪を含まず)	87 mm	耳骨胞長	17.1 mm
		吻幅	15.7 mm
		眼窩間幅	18.2 mm
		後眼窩間幅	17.8 mm
		頬骨弓幅	45.0 mm*
		臼歯列間幅	27.3 mm
		下顎骨長	50.4 mm
		下顎歯列長	32.7 mm

\*破損部位修復後の計測値.

期(7~9月)に交尾が可能であるという(小林,私信).  
ゆえに,2月に採集されたTMNH-MA-224は成獣とほ  
ぼ同じ体サイズだが生殖巣・生殖道の発達が見られな  
い未経産個体であるため,39か月齢未満の亜成獣個  
体であると考えられる.また,永久歯列に咬耗の進展  
がほとんど認められないことから亜成獣段階でも比較  
的若い個体であると推測される.

## 引用文献

- 阿部 永,2000.日本産哺乳類頭骨図説.北海道大学出版会,  
札幌,279p.
- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎吾・  
米田政明,1994.日本の哺乳類.東海大学出版会,東京,  
195p.
- 細田徹治・鏞 雅哉,1996.テンとエゾクロテン.川道武  
男(編),日本動物大百科 第1巻 哺乳類I,平凡社,  
東京,136-139.
- 石井信夫,2002.ツシマテン.環境省自然環境局野生生物  
課(編),改定・日本の絶滅のおそれのある野生生物  
—レッドデータブック—1 哺乳類,自然環境センター,  
東京,120-121.
- Mead, R. A., 1994. Reproduction in Martes. In Buskirk, S. W.,  
Harestad, A. S., Raphael, M. G. and Powell, R. A., eds.,  
*Martens, Sables, and Fishers Biology and Conservation*,  
Cornell University Press, Ithaca, 404-422.
- 佐々木 浩,1997.イタチ科 Mustelidae.日本哺乳類学会  
(編),レッドデータ 日本の哺乳類,文一総合出版,  
東京,100-107.